

令和7年度 第1回学校運営協議会（記録）

令和7年度第1回学校運営協議会を、令和7年6月16日（火）10時00分より、6名の委員の出席のもと開催しました。

令和7年度の学校運営協議委員は、次の方々です。

- ・大久保 香織様（本校PTA会長）*欠席
- ・高橋 謙一郎様（金山連合町内会 会長）
- ・鎌田 典子様（札幌大学 教授）
- ・能登 明美様（北海道立子ども総合医療・療育センター 看護部長）
- ・伊藤 翔太様（NPO法人ツリーフィールド 理事長）
- ・星野 健史（本校 校長）
- ・白木 宜子（本校 主幹教諭）

学校見学では、春の木漏れ日が廊下にある大きな窓から差し込む中、幼稚部から高等部まで、全学部の教室で展開されている授業を参観をしていただきました。子どもたちは、委員の皆様を前に、元気いっぱいな様子や、少し緊張した様子を見せていました。

本校と隣接する北海道立子ども総合医療・療育センター（以下、コドモックル）とをつなぐ渡り廊下や、その付近に設置してある旧校舎で使用していた本校の看板、完全バリアフリーで開放的な校舎などを実際に見ていただいて、今年度、新たに本校の学校運営協議委員になっていただいた方々を含めた委員の皆様からは、「外からは見ていたけれど、校舎内を参観できて良かった。」「歴史のある看板ですね。」などと、感想をいただいたきながら校舎を回ることができました。

次に、校長から「令和7年度学校経営方針」の説明を行いました。①本校に在籍している幼児児童生徒について、②昨年度より継続し、アフターコロナで地域の皆様とのつながりをどのように戻していくか、③子どもが主語として考える授業づくりを目指し、教職員にとってもやりがいのある組織づくり、信頼される学校づくりをしていくことなどについて、グランドデザインを用いながら具体的に説明をし、学校経営方針に対して、委員の皆様の承認を得ることができました。



続いて、各学部主事がスライドを用いて学部紹介を行いました。普段の学習の様子や、運動会や文化祭等の学校行事、見学旅行や宿泊研修などの旅行行事や社会見学などの校外学習、その他、様々な様子について、写真を用いながら説明しました。

次に、教頭より熟議として、「地域と連携した活動について」について、説明があり、委員の皆様からは、「コロナ前に地域と一緒に取り組んだことでも、かなり間隔が空いた。その間、町内会も人が変わっている状況である。今年度はまずお互いの様子を見ることから再開したら良いと思う。」「得意なことがある地域の皆さんのがいるのではないかと思う。そういう方々が子どもたちと関わる機会があると良いなと思う。」「まずは今年度取り組んでみて、次年度に活かすことができれば良いと思う。」「まだコロナが全くなくなったわけではないので、コドモックルの入院生が在籍している手稲養護学校の場合は、誰でも自由に校内に入りすることが難しいと思うが、地域の学校との交流を徐々に戻していくと良いと思う。」「実際校舎を見学し、学校の取り組みを聞いて地域とつながっていきたいという思いが伝わった。」「手稲養護学校は入院生がいるため、例えば畠で収穫した野菜を食べるにも許可が必要であるなど、様々な点でコドモックルとの連携が必要であると知った。まずは地域の資源を活かして町内の皆さんとのつながりを少しずつ積み上げていくことが良いのではないかと思う。」など、本校の特性を理解した上で、大切にしたいことや感じたことなど、活発な意見交換をすることができました。

最後に、校長より、学校運営協議委員会は2年ごとに改編して開催しており、今年度は1年目であることから、ぜひ、委員の皆様に本校の応援団になっていただきたいこと、また、教職員一丸となって子どもたちの笑顔を増やしていきたいことなどを伝えました。

次回は、12月に開催予定です。

(主幹教諭 白木宣子)